



石上神宮(天理市布留町)



石上神宮の白砂の境内。拝殿の西側と参道脇に神杉がある。「石上布留の神杉」と『万葉集』にも詠われている。神宮はお正月、多くの初詣の人たちで賑わう。

布留の烏帽子石

昔、昔、布留川のほとりに、一人のおばあさんが住んでいた。ある日、川でさぶさぶと洗濯をしていると、川上から一振りの剣が流れてきた。不思議なことに、この剣の刃に触れると、木の根も岩も、ススツと切れてしまう。

おばあさんが、白い布でそれを拾い上げた。剣はあやしい程、光り輝いていた。「これは、普通の剣ではない。自分のものにしてはもったいない」と、神様に奉納した。正直な

奈良の魅力映像 BOX 石上神宮

検索

布留の烏帽子石

石上神宮の末社、神田神社に今も残る烏帽子石。神宮の鳥居前の道路を渡ったすぐ向かい側にある。神社はもと天理市三島町にあったが、平成2年に現在地に遷された。



おばあさんは、神主さんからたくさこの話を聞いた、隣の欲張りおばあさん。毎朝早く川へ行ってみたが、何も流れてこない。

ある日、運の良い夢を見て、まだ薄暗い早朝、急いで川へ向かった。すると、川上から烏帽子や冠が流れてくる。おばあさんは喜んでさっそく拾い上げたが、夜が明けてよく見ると、何とどれも石ばかり。烏帽子の形をした石は、今も残っている。

布留川の流れる奈良県天理市。その東に日本最古の神社の一つ、石上神宮が鎮座する。

JRと近鉄が接する天理駅から、東へ車で街の中を走る。やがて風景は一変し、遙か遠く二重、三重の山

「石上神宮」へは…

天理駅から奈良交通バス首原行きで石上神宮前下車。



石上神宮
☎0743-62-0900

物語の場所を訪れよう

並みが目の前に迫ってくる。ちょうど雨上がりの翌朝、白い霧が山々を覆い、墨絵のような美しさであった。石上神宮の鳥居の向こうは、緑豊かな千古の森の趣き。静寂と神々しさに包まれた幽邃の神域である。白砂の庭に美しい姿の神鶏が群れ遊ぶ。朱碧の回廊と、楼門、中に拝殿、その奥の禁足地に本殿が建つ。創祀は崇神天皇7年に遡り、神武天皇ゆかりの靈剣、布都御魂大神などを祭神とする。布留の地名は、魂振り(生命力の再生)のための神剣・神宝を振る呪術「振る」からとも、神剣が布に留まったことからともいう。神宮のすぐ北に、のどかな田畑が広がり、布留川が流れている。その微かな瀬音は、今も、どこか神のささやきを思わせる清らかさだ。